長浜市「大河ドラマ館」及び独自展示館「義と絆館」運営等業務委託
公募型プロポーザル実施要領

1. 目的

本実施要領は、2026年大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送に合わせて、北近江豊臣博覧会実行委員会が設置を予定している「豊臣兄弟！北近江長浜 大河ドラマ館（仮称）」及び「浅井・小谷城下町会場 義と絆館（仮称）」（以下、「大河ドラマ館及び義と絆館」という。）の運営、入場券の販売管理、周辺警備、誘客宣伝等に係る契約の相手方となる事業者の選定にあたり、公募型プロポーザル方式の実施方法等について必要な事項を定めるものです。

2. 業務概要

(1) 業務名

長浜市「大河ドラマ館」及び独自展示館「義と絆館」運営等業務

(2) 業務内容

別紙「長浜市「大河ドラマ館」及び独自展示館「義と絆館」運営等業務委託仕様書」（以下「仕様書」という。）参照

(3) 業務期間

契約締結日から令和9年2月28日まで

3. 見積上限額

見積額の上限は、90,000,000円（消費税額及び地方消費税額を含む。）とします。
なお、仕様書「7. その他(8)」で規定するインセンティブは含まないものとします。

4. 実施形式

公募型プロポーザル方式とします。

5. スケジュール（予定）

公募開始	令和7年4月25日（金）
質疑受付締切	令和7年5月 2日（金）
質疑に対する回答（ホームページ）	令和7年5月 7日（水）
参加申込書の提出期限	令和7年5月 9日（金）
企画・技術提案書等の提出期限	令和7年5月23日（金）
ヒアリング審査	令和7年6月 3日（火）

6. 参加資格要件

プロポーザルに参加できる者（提案者となろうとする者）は、次に掲げる要件の全てに該当する者とします。なお、グループ（複数の企業体）の場合、以下（3）から（6）においては、構成する全ての者が要件を満たしていることとします。

- (1) 令和7年度の長浜市競争入札参加有資格者名簿に登録されている者であること。なお、グループで応募する場合は、構成員の代表者が本資格要件を満たしていること。

- (2) 過去5年以内に本業務と類似業務*の実績を有すること。なお、グループで応募する場合は、構成員のいずれかの者が本資格要件を満たしていること。
- (3) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第1項に規定する者に該当しない者であること。
- (4) 長浜市から入札参加停止措置を現に受けていないこと。
- (5) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく更生手続開始の申立てをしている者（更生手続開始の決定を受けている者を除く。）又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続開始の申立てをしている者（再生手続開始の決定を受けている者を除く。）でないこと。
- (6) 次のいずれにも該当しないこと。
- ア 役員等（個人である場合にはその者を、法人である場合にはその全ての役員をいう。以下同じ。）が、暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「法」という。）第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であると認められるとき。
- イ 暴力団（法第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員が経営に実質的に関与していると認められるとき。
- ウ 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしたと認められるとき。
- エ 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど、直接的又は積極的に、暴力団の維持又は運営に協力し、又は関与していると認められるとき。
- オ 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められるとき。
- ※ 類似業務とは、大河ドラマの展示施設及びそれに類似する施設の運営、入場券の販売管理、周辺警備、誘客宣伝等に係る業務とします。

7. 質疑・応答

- (1) 提出方法
質問書（様式8）を次の専用フォームにて提出してください。
URL: <https://logoform.jp/f/4Jyq9>
※ 必ず電話で送信した旨を伝え、事務局において受信したことを確認してください。
※ 電話又は口頭による質問は受け付けません。
- (2) 提出期限
令和7年5月2日（金）午後3時（必着）
- (3) 回答方法
令和7年5月7日（水）午後5時以降に市HPに掲載します。

8. 参加申込の手続き

- (1) 参加申込
本プロポーザルへの参加を希望する者は、本実施要領、仕様書及び長浜市契約規則等の

各規定を理解したうえで、参加申込をしてください。

(2) 提出書類

次の①から③の書類を提出してください。なお、グループで参加される場合には④及び⑤も併せて提出してください。

① 参加申込書（様式1）

② 過去5年以内に本業務と類似業務の実績（発注者、導入日、業務名称、業務概要）
がわかるもの（任意様式）

③ 会社概要（任意様式）

グループで応募する場合は、構成する企業ごとに提出してください。

④ グループ構成表（様式2）

グループで応募する場合は、構成する企業全てを明らかにし、各々の役割分担を明確にしてください。

⑤ 誓約書（様式3）

グループで応募する場合は、構成する企業ごとに提出してください。

(3) 申込期限

令和7年5月9日（金）午後3時（必着）

(4) 提出方法

必要書類を次の専用フォームにて提出してください。

URL : <https://logoform.jp/f/v1FWu>

※ 必ず電話で送信した旨を伝え、事務局において受信したことを確認してください。

(5) 参加資格審査結果の通知

参加資格審査の結果は、令和7年5月13日（火）以降に電子メールで通知します。

9. 企画・技術提案書の提出及び作成方法

(1) 提出書類

	提出書類	提出部数	記載事項
ア	企画提案書 (任意様式)	正本1部 副本10部	①企画概要 企画提案する事業全体の概要や特徴、関係者との連携・支援体制、活用方法等 ②運営管理等に係る具体的な提案 別紙仕様書及び評価基準を踏まえた提案を記載すること。 ③スケジュール 全体スケジュールと進行管理について記載すること。 ④実施体制 業務の運営体制や緊急時の連絡ができる人員体制等について記載すること。 また、人員配置計画では、雇用形態、地元雇用の有無及び目標割合も記載すること。

イ	見積書及び内訳書 (任意様式)	正本 1 部 副本 1 0 部	年度別・業務別に、経費の内訳が分かるように記載すること。
---	--------------------	--------------------	------------------------------

※ 参加資格審査結果通知書により提案者として認められた者は、本実施要領、仕様書及び長浜市契約規則等の各規定を理解したうえで、次の書類を提出してください。

※ 正本のみに事業者名を記載し、副本には提案者の事業者名や事業者が特定できるマーク等は記載しないこと。

※ 企画提案書の作成及び提出に係る一切の費用は提案者の負担とする。

(2) 提出期限

令和 7 年 5 月 2 3 日（金）午後 3 時（必着）

(3) 提出方法

ア 正本

必要書類を次の専用フォームにて提出してください。

URL : <https://logofom.jp/f/0bGT8>

※ 必ず電話で送信した旨を伝え、事務局において受信したことを確認してください。

※ 専用フォームにて提出する企画提案書のファイル形式はPDFとし、電子データの容量が大きく専用フォームにて添付できない場合は、担当課に連絡しその指示に従ってください。

イ 副本

必要書類は、持参又は郵送（簡易書留）により、事務局あてに提出すること。

1 0 . 審査方法等

本実施要領及び仕様書等に基づき提出された企画・技術提案書等について、プロポーザル選定委員会が審査します。

(1) ヒアリング審査

プロポーザル選定委員会の審査においては、次のとおり提案者からのヒアリングを行い、提案内容を総合的に審査します。

ア 説明時間は 3 0 分以内とし、質疑応答は 2 0 分程度とします。ただし、提案者数が多い場合には調整することがあります。

イ 会場にてプレゼンテーションで使用できるプロジェクター及びスクリーンは、実行委員会で準備します。その他プレゼンテーションに必要なものがある場合は、提案者で用意してください。

ウ 接続等の準備は提案者の責任において行うこととし、接触不良等により当該プロジェクターが使用できない場合、市は一切の責任を負いません。

(2) 審査日時（予定）

令和 7 年 6 月 3 日（火） 時間等詳細は別途お知らせします。

(3) 審査会場（予定）

長浜市役所 本庁舎 5 階 5 - B 会議室

(4) 評価項目

企画・技術提案書、見積書、プレゼンテーション、ヒアリングの内容を基に、別添「審査採点表」に基づく項目、内容、配点割合により審査します。

1 1. 審査結果

(1) 通知方法

ヒアリング審査を受けた全ての提案者に電子メールにて通知します。

(2) 通知時期

令和7年6月4日（水）（予定）

1 2. 提出書類の取扱い

(1) 提出された全ての書類は、返却しません。

(2) 提出後の差し替え及び追加・削除は認めません

(3) 提出された書類は、提出した者に無断でこのプロポーザルに係る審査以外には利用しません。

(4) 事務局が必要と認める場合には追加資料の提出を求めることがあります。

(5) 企画・技術提案書の提出は1者につき1案とします。

1 3. 情報公開及び提供

事務局は、提案者から提出された企画・技術提案書等について、長浜市情報公開条例（平成18年長浜市条例第17号）の規定による請求に基づき、第三者に開示することができるものとします。ただし、事業を営むうえで、競争上又は事業運営上の地位その他正当な利益を害すると認められる情報は非開示となる場合があります。

なお、本プロポーザルの受託候補者特定前において、決定に影響がでるおそれがある情報については決定後の開示とします。

1 4. その他

(1) 言語及び通貨単位

手続において使用する言語及び通貨単位は、日本語及び日本国通貨に限ります。

(2) 費用負担

書類作成及び提出に係る費用など、必要な経費は全て提出者の負担とします。

緊急やむを得ない理由等により、本公募型プロポーザルを実施することができないと認めるときは、停止、中止又は取り消すことがあります。なお、この場合において本公募型プロポーザル方式に要した費用を事務局に請求することはできません。

(3) 参加辞退の場合

参加申込書の提出後又は企画・技術提案書の提出後、都合により参加を辞退することになった場合は、速やかに辞退届（様式5）を事務局あてに電子メールにて提出してください。

(4) 失格事項

次のいずれかに該当した場合は、その者を失格とします。

ア 参加資格要件を満たしていない場合

イ 提出書類に虚偽の記載があった場合

ウ 実施要領等で示された、提出期日、提出場所、提出方法、書類作成上の留意事項

- 等の条件に適合しない書類の提出があった場合
 - エ 選定結果に影響を与えるような不誠実な行為を行った場合
 - オ ヒアリングを開催した場合において、正当な理由なく欠席した場合
 - カ 見積書の金額が見積上限額を超過した場合
 - キ 審査において、提案者の得点が最低基準点を評価点が下回った場合
- (5) 著作権等の権利
- 企画・技術提案書等の著作権は、当該企画・技術提案書等を作成した者に帰属するものとします。
- ただし、受託先に選定された者が作成した企画・技術提案書等の書類については、市が必要と認める場合には、事務局は、受託先にあらかじめ通知することによりその一部又は全部を無償で使用（複製、転記又は転写をいう。）することができるものとします。
- (6) 提案者は、公募型プロポーザル方式の実施後、不知又は内容の不明を理由として、異議を申し立てることはできません。

15. 問い合わせ先

北近江豊臣博覧会実行委員会事務局

（長浜市役所 産業観光部 北近江豊臣博覧会推進室内）

〒526-0059 滋賀県長浜市元浜町13-16

電話 番号 : 0749-65-6770

F A X 番号 : 0749-53-3351

E - m a i l : toyotomi@city.nagahama.lg.jp

「大河ドラマ館」及び独自展示館「義と絆館」運営等業務 審査採点表

申請者名	
委員氏名	

(1) 企画提案書に対する審査

評価項目	評価基準	倍率	評価基準点					倍率×点	
			5点	4点	3点	2点	1点		
全体 構成 評価	1 入場券販売に関する企画販売、販売促進	誘客及び販売促進に繋がる販売方法の提案や旅行会社等への営業活動が計画されているか	3	非常に優秀	優秀	普通	やや劣る	劣る	
	2 団体旅行受入に関する体制、企画提案	団体バスの予約管理や関係施設との連絡体制、効果的な動線等、団体旅行の受入に向けた企画提案が行われているか	3	非常に優秀	優秀	普通	やや劣る	劣る	
	3 誘客宣伝	大河ドラマ館の来館者数を増加させるための効果的な企画が提案されているか	3	非常に優秀	優秀	普通	やや劣る	劣る	
	4 地域連携	地元雇用や関係者との連絡調整、市内事業者の活用等に配慮されているか	2	非常に優秀	優秀	普通	やや劣る	劣る	
	5 追加提案	仕様書に示す業務内容以外に事業効果を高めるための具体的な追加提案がされているか	2	非常に優秀	優秀	普通	やや劣る	劣る	
小 計								点/65点	

(2) 実施体制等に関する評価

評価項目	評価基準	倍率	評価基準点					倍率×点	
			5点	4点	3点	2点	1点		
実施 能力 評価	1 業務遂行力/実績	本業務を実施する上で十分な事業者規模、実績があり、本業務を遂行できる能力を有しているか	3	非常に優秀	優秀	普通	やや劣る	劣る	
	2 実現性/実施体制	本業務の実施方法、スケジュールに実現性のある提案がされているか、円滑に進める人員体制が十分か	2	非常に優秀	優秀	普通	やや劣る	劣る	
小 計								点/25点	

(3) 事業費に関する評価

評価項目	評価基準	得点配分(A)	見積額		1-B=C	評価点 (A×C)
			(B)	見積限度額		
事業 費 評価	見積額	25		90,000,000	1.0000	
小 計						点/25点
合 計						点/115点

※ 同点の場合は、各委員から意見聴取し、順位を決定します。

※ 提案者が1者であっても本プロポーザルは成立しますが、事業費評価を除く90点満点中54点を最低基準点とし、この最低基準点を評価点が下回った場合は失格とします。